

平成 27 年度

技術本部成果発表会

昨年度の研究成果を多くの皆様にご報告し、JASA 技術本部の活動にご理解いただくことを目的に成果発表会を開催いたします。

発表会后、発表者・技術本部委員との交流を深めていただくため、交流会をご用意いたしました。お申込みは先着順ですので、お早目のお申込みをお待ちしております。

日 時 平成 27 年 5 月 20 日(水) 受付開始 13:00～
発表会 : 13:30～17:20 / 交流会 : 17:40～19:10

場 所 発表会 : 東実年金会館 4 階大ホール
中央区日本橋浜町 1-8-12 [map] http://www.jasa.or.jp/top/info/access_map.html
交流会 : “hitokadoru”
中央区日本橋浜町 1-1-9 [map] <http://hitokadoru.com/shop.php>

参加費 発表会 : 無料
交流会 : 会員 1,000 円/人(税込) 一般 2,000 円/人(税込)
*参加費は発表会の受付で現金にてお支払いいただきます(領収書を発行いたします)。

発表 13:30～ 開会あいさつ
プログラム 13:40～14:10 技術高度化委員会 OSS 活用ワーキンググループ
14:10～14:40 安全性向上委員会
14:50～15:00 IPA との連携活動のご紹介 (IPA 障害原因診断 WG)
15:00～15:30 技術高度化委員会 状態遷移設計研究会
15:30～16:00 応用技術調査委員会 プラットフォーム研究会
16:10～16:30 応用技術調査委員会 技術セミナーワーキンググループ
16:30～16:40 ハードウェア委員会 ワーキンググループ 1
16:40～16:50 ハードウェア委員会 ワーキンググループ 2
16:50～17:20 中部支部 アジャイル研究会



交流会 17:40～19:10 発表者との交流会をご用意いたしました。
18:30～表彰式



お申込方法 Web フォームあるいは、メールにて受付けております。

A. Web から <http://goo.gl/forms/ovNtoKrYy1>

B. メールにて 送信先 registration@jasa.or.jp

件名「技術本部発表会申込み」

記載内容 : 法人名、部署名、お役職名、ご芳名、連絡先、交流会参加可否

締切り 満席になり次第、締め切らせていただきます。お早めにお申込みください。

発表概要

技術高度化委員会 OSS活用ワーキンググループ		竹岡 尚三氏
オープンソース・ソフトウェア(OSS)活用の障害。ロボット用 OSS の活用		
概要	OSS活用WGでは、企業でのOSS活用を進めるべく活動を行っている。 今回は、OSS活用の障害となっている事柄について報告する。また、JASA技術本部が中心となり、研究、開発しているOpenELを始めとするロボット用OSSを紹介する。	
安全性向上委員会		中村 洋氏
要求の仕様化に関する活動の最終報告		
概要	意図したものが実現できる要求定義を求めて、安全性向上委員会は2012年度から3年間、要求の仕様化に関する課題、仕様化を支援するプロセス、及び使用する手法に取り組んできた。 その成果を報告書にまとめたので、その概要を紹介するとともに、プロセス及び手法の一つとして、システム要求設計技法による安全要求の記述を取り上げ、それを解説する。	
技術高度化委員会 状態遷移設計研究会		小林 良氏
レガシーコードの蘇生術 ～リバースモデリングによる状態遷移表の作成～		
概要	現在の組み込みソフトウェア開発では、派生開発による開発期間やコストの削減が求められている。 しかし、実際にはレガシーコードの複雑化・肥大化やドキュメントの陳腐化が進み、機能追加・改造が困難な状態にある。 状態遷移設計研究会では、この問題を解消すべく、レガシーコードから状態遷移表へのリバースモデリング手法に取り組んでいる。今回は、これまでの研究成果と、今後の活動や展望について報告する。	
応用技術調査委員会 プラットフォーム研究会		古俣 学氏
ロボット向け組込みソフトウェアライブラリ OpenEL		
概要	本年度も昨年度に引き続き、次世代の共通基盤となる技術や考え方を探究し、具体的にロボットのプラットフォーム(PF)について深堀を行うとともに、成果を一般に公開することを目的として活動を行った。 具体的には、ロボット向け組込みソフトウェアライブラリ OpenELについてさらなる調査・研究を進め、バージョン2.0の仕様を策定した。 本成果発表会では、仕様の詳細及び国際標準化活動の進捗、今後のロードマップについて公表する。	
応用技術調査委員会 技術セミナーワーキンググループ		富岡 理氏
JASAの対外アピールについて～クミコちゃんを中心に～		
概要	技術セミナーWGと広報委員会は、合同で活動し、JASAの対外アピールを担っている。 昨年から今年にかけての3つの大きな活動を報告する。 (1)盛り上がるロボットセミナー (2)ミライ・クミコをどうぞよろしく (3)日経テクノロジーオンラインへの連載コラム	
ハードウェア委員会 ワーキンググループ1		矢部 哲美氏
これからの「ものづくり技術者」の育成方法とは？		
概要	組込み関連企業は、近年の厳しいビジネス環境の中でも、組織力や営業力を駆使しながらこの苦境を乗り越えてきた。同時に差別化をはかるべく、技術者への要求は、専門的な技術力や管理能力、コミュニケーション能力が高いレベルで求められている。 さらに、国は社会人基礎力なるものを提唱し、教育環境を変えていく動きがある。 このような背景の中で、ハードウェア委員会としては、個を強くし、真の付加価値を生み出すには「感性」を育てることが重要と考え、その育成方法について探っていく。	
ハードウェア委員会 ワーキンググループ2		笠木 大幹氏
新技術の調査(ロボットや制御機器の技術調査)		
概要	JASA技術本部が中心となり、考案されたロボットや制御機器のソフトウェアの実装仕様を標準化するプラットフォーム“OpenEL”に準拠したハードウェア標準プラットフォームのプロトタイプ設計を通して、ロボットやあらゆる制御機器に求められる技術要素を調査する。	
中部支部 アジャイル研究会		戸澤 充氏
アジャイル研究会の挑戦 ～組み込みとアジャイルと、契約と～		
概要	中部支部アジャイル研究会では、過去2年間にわたり、組込ソフトウェア開発が抱える問題解決の手段として、アジャイルプロセスの適用を検討してきた。 研究を重ねるにつれ、組込開発とアジャイルの相関関係が、少しずつ明確になってきた。現在は、組込特有の風習がアジャイルのプラクティスに与える影響の事例研究と、その解決策の模索を通じ、「組込アジャイルのためのガイドライン」作成に取り組んでいる。今回はその成果と課題について、紹介する。	